

# 植物紹介-アーモンド (扁桃)

バラ目バラ科

学名：*P. dulcis* D. A. Webb (*Prunus amygdalus* Batsch)

薬用部位：種子

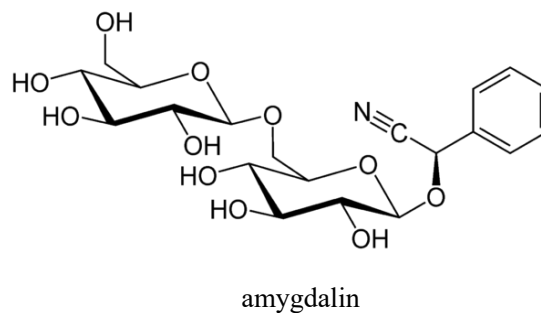
薬効：甘扁桃＝食用 油原料

苦扁桃＝鎮咳 去痰

産地：米国カルフォルニア 地中海地方（原産地は中央アジア）

→冬暖かく、夏乾燥している気候に適している。

成分：青酸配糖体（amygdalin prunasin）加水分解酵素(emulsin)



東京理科大学 植物園 2019.4.16

高さ3~8mの落葉小高木。3~4月に花を咲かせ、7~8月に実が成熟する。種子には2種類ある。  
-生薬である苦扁桃（味は苦く、amygdalin, emulsinを含む。）-食用として用いられる甘扁桃（味は甘く、薬用成分は含まれない。）また、苦扁桃に含まれる薬用成分である青酸配糖体はβグルコシダーゼ型酵素により加水分解され、アグリコンからアルデヒドと有毒な青酸HCNガスを生成するため、一定量以上の摂取は中毒症状を起こす可能性があり有害である。

参考文献

パートナー天然物化学 改訂版3版

天然医薬資源学 第6版

最新 薬用植物学

東京生薬協会

2019.12.6 4YP MM